

# 仙林寺だより

NO. 35  
編集・発行  
松田正貴

## 行事報告

### モラロジ―東北子供坐禅体験

八月一日、今年で三回目を迎える子供坐禅は、毎年恒例の行事となりそうです。

子供二十五名、大人七名程の参加でした。坐禅指導の後、今年のお話しは「油断」についてです。「油断」という言葉の成り立ちは、インドの王様が家来に命じた「油をこぼせばそなたの命を断つ」から来ていること。何事にも真剣に立ち向かい、正しい心で接することの大切さを例えたお話してあること。また、夏休みも中盤にさしかかり、気がゆるみがち、日常の生活に坐禅の心を生かし、「油断」なきように過しましう。といったお話して締めくくりました。三十分ほどの坐禅でしたが、朝の心地よい風が本堂を通り抜け、暑い中にも爽やかな時を過ごす事ができました。子供達の心に夏休みの思い出の「コマ」として残ってくれば何よりです。



子供坐禅体験



流しそうめん

### 孟蘭盆施食会・小さな美術展

十三日お盆の入り午後二時より、本堂にて施食会供養を致しました。主にお世話人の皆様にご参加頂いておりますが、どなたでもご参加頂けますので、ご先祖様をお迎えしながら、ご焼香頂ければと思います。来年度もより多くの参加者を募ります。

今年の美術展は、お盆期間中、人間国宝芹沢銈介展を開催しました。型染めに代表される独特な雰囲気、小品ではありますが楽しんで頂きました。多くの感想もお寄せ頂きました。なにぶん手作りの展覧会、ご意見は継続の励みとなります。有難うございました。

### 仙林寺如意輪観音祭礼

#### 村岡・八幡台揚柳観音祭礼

十日、仙林寺如意輪観音様夏期祭礼を修行恒例の「餅観音」あんこ餅を振る舞いました。十五日は、別当・村岡揚柳観音様の祭礼でした。今年はお盆踊りのやぐらも設置して、精霊送りの準備は万端。法話は、お盆のお話しをさせて頂きました。



裏型さん汗だく



盆棚お供え

### 寺子屋「流しそうめん」

十一日開催、二十五名の参加者がありました。紙芝居を見ながら、お盆の学習。本堂で盆棚のお供えを体験し、いよいよお楽しみ流しそうめん。協力員宮内氏の手作りのセットも雰囲気上々、竹の中を流れる水音を楽しめたのも最初だけ、子供達の歓声で風情どころの騒ぎではなく、裏方さんは汗だく。終わってみれば、一人半束強のそうめんをたいらげ、皆ご満悦。大盛り上りの体験でした。今回お手伝い頂いた皆様、本当にお疲れ様でした。また、竹炭でおなじみの川俣町の高橋様より立派な竹を提供して頂きました。有難うございました。

### 善意のご報告

ご本堂をお参り頂くと、あお畳の良い香りが致します。栄町菅野豊店様からご寄付して頂きました。お陰様で気持ちの良いお盆様がお迎え出来ました。ここに報告申し上げ、改めてお礼申します。

### ちよつと一言

お盆とは、この世に生きる私達と、仏さま、ご先祖様との出会いの季節、十三日の迎え盆にはきゆうりの馬に乗ってなつかしい我が家へ戻られると言われます。手にするお土産はお迎える家族の懇ろな心となって表れております。また十六日の送り盆には、なすの牛に沢山のお土産をのせてお帰りになれます。帰りのお土産はご家族のご供養による功德に他なりません。伝統的な行事をご縁として、正しい教えに目覚めさせて頂いたご恩に感謝申し上げます、お盆様を丁寧にご送りたいものです。